

代用陶磁器が語る 戦時下のものづくり

初公開 約70点の代用陶磁器試作品

本展では、不足する金属製品に代わる陶磁器製品の研究開発や試作を行なっていた、岐阜県陶磁器試験場（現セラミックス研究所）に收藏されている代用陶磁器試作品約70点を初めて公開します。物資不足の時代に生み出された技術や工夫の数々を通して、戦時下の暮らしやものづくりの歩みに触れていただくとともに、限られた資源の中で価値を生み出す発想について考える機会となれば幸いです。

金属から陶磁器へ ～驚きの代用品～



金属製ガスコンロ



陶磁器製ガスコンロ



金属製棚受け



陶磁器製棚受け

〔約70点の試作品が語る歴史の断片〕昭和13年（1938年）の国民総動員法施行以降、金属資源は軍需用途が優先され、家庭用品をはじめ多くの金属製品が回収されました。こうした状況の中で、金属製品に代わるさまざまな陶磁器製品の試作が進められ、一部は商品化にも至りました。

開催期間

2026年8月3日(月)～21日(金)

(土日祝日を除く)

開催時間

9:00～16:00 (入場は15:50まで)

場 所

岐阜県セラミックス研究所 展示場

お問い合わせ：岐阜県セラミックス研究所 TEL0572-22-5381

